

國家檔案一般性審選原則及重點

一、國家檔案一般性審選原則

- (1) 已失行政時效原則。
- (2) 全宗原則。
- (3) 檔案年代久遠原則。
- (4) 檔案特殊性及代表性原則。
- (5) 檔案唯一性及重要性原則。
- (6) 去蕪存菁原則。
- (7) 不受媒體拘泥原則。
- (8) 檔案完整性及互補性原則。

二、國家檔案一般性審選重點

- (1) 民國 38 年以前檔案，涉各機關戰後初期政府施政及社會發展，具研究價值者。
- (2) 涉及政府重要制度、決策、計畫及建設者。
- (3) 涉及政府重要法規之制(訂)定、修正及解釋者。
- (4) 涉及政府組織調整及沿革者。
- (5) 對社會福利及人民權益維護具有重大影響者。
- (6) 具有重要歷史、社會文化或科技價值者。
- (7) 屬重大輿情、重要人物之特殊個案者。

其他有關重要事項而具有國家檔案價值者。

